

## 第7次川越町総合計画 まちの将来像の検討

○検討の流れ

	項目	内容	備考
1	各課での検討	各課内でキャッチフレーズ、キーワードを検討。	募集期間 3/4～3/12
2	第3回 庁内検討会議	各課より提出されたキャッチフレーズ、キーワードについて説明。これらを踏まえ、検討会議のメンバーで検討。	3人×4グループで将来像を検討。 3/13 10時～
3	グループ検討	グループごとに、将来像（案）を調整	3/13～3/18
4	グループ（案）の提出	グループ1・2案を決定	3/19
5	<u>将来像の決定</u>	<u>策定会議により、これまでの検討内容を踏まえ、将来像を決定</u>	

○検討結果

上記1「各課での検討」により、将来像（キャッチフレーズ）については、26案が提出されました。キーワードについては、5課より提出されました。

**※各課から提出された将来像は、資料② P1～6**

**※各課から提出されたキーワードは、資料② P7・8**

検討会議参加者が4グループに分かれて、キーワードとなる言葉をピックアップし、読みやすさ、親しみやすさなどの観点から、再検討を行い、最終案として、5案を決定し、今回、策定会議へ提出しています。

○参考

第5次将来像 うるおい であい ふれあいのまち かわごえ

第6次将来像 みんなで支えよう 笑顔あふれる元気な町 かわごえ

**※近隣市の将来像は、資料② P9・10**

○最終決定

検討会議等で将来像を検討しましたので、策定会議での協議により、将来像の決定を行います。

第7次川越町総合計画 まちの将来像の提案 (No.1)

○まちの将来像

つながる笑顔 ず~~~~っと暮らしたい町 かわごえ

○将来像に込めた思い・理由など

「つながる笑顔」…一人ひとりの笑顔が次の笑顔をつくりつながっていく地域づくりを目指します

「ず~~~~っと暮らしたい町」…10年という枠を超えて郷土に誇りをもち、永く暮らしたいと思えるまちを作ります。

※長音符の波線（ず~~~~っとの「~」の部分）については、川越町の川や海をイメージしているとともに、山が三つなのは子供から大人、お年寄りまで3世代で長く暮らせるようにという思いを込めました。

第7次川越町総合計画 まちの将来像の提案 (No.2)

○まちの将来像

笑顔をつなぐ 心かようまち かわごえ

○将来像に込めた思い・理由など

「笑顔」…現計画のキーワードでもあり、第7次においてもポイントとなる言葉であり、キーワードとした。

「つなぐ」…人と人をつなぐ、未来へつなぐ ことをイメージ

「心かよう」…人と人とのつながり、地域とのつながり をイメージ

第7次川越町総合計画 まちの将来像の提案 (No.3)

○まちの将来像

笑顔きらきら 心かようまち かわごえ

○将来像に込めた思い・理由など

「笑顔」…現計画のキーワードでもあり、第7次においてもポイントとなる言葉であり、キーワードとした。

「きらきら」…人が輝くこと、キラキラ体操をイメージ

「キラキラ」と表記した場合、インパクトはあるが、  
鋭い感じがするため、ひらがな表記としている。

「心かよう」…人と人とのつながり、地域とのつながり をイメージ

第7次川越町総合計画 まちの将来像の提案 (No.4)

○まちの将来像

一人ひとりが主人公 えがお キラキラ 川越町

○将来像に込めた思い・理由など

川越町に住む赤ちゃんからお年寄りまで、川越町で働く人、全ての人が主人公であり、幸せに暮らすことができ皆が笑顔になる町づくりをすすめていく。そして、一人ひとりの生活（人生）がキラキラ輝くものとなるように思いを込めました。

第7次川越町総合計画 まちの将来像の提案 (No.5)

○まちの将来像

ひと まち キラキラ かわごえ町

○将来像に込めた思い・理由など

ひとがまちを元気にする。  
一人ひとりが輝くことで、みんなの笑顔がつながり、安心して暮らせるまちをつくる。

表現は、子どもから高齢者までどの世代にも印象に残るよう、シンプルかつカタカナを用いて注意をひくようにした。